

建築・住宅の将来像に関する社会・技術開発動向調査

平成 20／21 年度版

建築・住宅の持続可能性を実現する技術動向調査報告書

平成 22 年 1 月

建築研究開発コンソーシア

平成 20/21 年度建築・住宅の将来像に関する社会・技術動向調査報告書目次
ー建築・住宅の持続可能性を実現する技術動向ー

提 言

建築・住宅の持続可能性を実現するための提言ー前文

- 1 : 建物を長年にわたって使用するためには使用者側の意識改革が必要である
 - 2 : 住宅や建物の価格は経年減価する、その相場評価は妥当なのか？
 - 3 : 住宅においては建物のメンテナンスに配慮した建築設計をおこなうべきである
 - 4 : 建物の診断技術と修繕・更新周期の課題
 - 5 : 建物の改修を促進するためには、法律や税制など既存制度の見直しが必要である。
 - 6 : 住宅資産の活用を支援する産業に関わる新しい動向
 - 7 : ストック住宅の活用に向けて建築資材のリサイクルを
- 住宅の持続可能性を実現するための提言のまとめ

資 料 編

1 章 調査の概要

2 章 テクニカルヒアリングの記録

- 2 章-1 長寿命化に求められるもの
小松幸夫 早稲田大学教授
- 2 章-2 200 年住宅海外調査団報告
松谷輝雄 前CBRD事務局長
- 2 章-3 住宅ストック（マンションストック）の有効活用に係る現状と課題
長谷川 洋 国土交通省国土技術政策総合研究所研究 室長
- 2 章-4 建築ストック有効活用のためのリサイクルの現状と課題
清家 剛 東京大学准教授
 - 2 章-4-1 木造住宅の解体工事
 - 2 章-4-2 アルミハウスの解体性／リユース性
 - 2 章-4-3 超高層鋼構造建築物の解体
- 2 章-5 まちづくりと建物再生
大竹 亮 国土技術総合政策研究所 部長

3 章 見学会報告

- 3 章-1 ひばりが丘団地改修・改良施工実験見学
所在地 東京都東久留米市
- 3 章-2 アルミハウスプロジェクト「金沢 M 邸」（作品名：「A-ring」）
所在地 石川県金沢市
- 3 章-3 伝統木造住宅改修工事
所在地 大阪府交野市

4 章 検討会配布資料

- 4 章-1 年度テーマ検討資料
- 4 章-2 2030 年の新設着工住宅戸数の予測